

小学部 B 部門 日常生活の指導「朝の会」指導略案

1. 日 時 1月26日(水) 9:40~10:00
 2. 場 所 小B1年教室
 3. 参加者 小学部B1年1組 児童 7名
 4. 指導者 4名
 5. 単元(題材) 今日も元気
 6. ねらい

- (1) リーダー教師に注目させるとともに着席行動を引き出す。【人】【意】
 (2) 学校生活の始まりを意識させ、活動への意欲を高める。【将】
 (3) 今日一日の流れを知らせ、見通しを持たせる。【情】【将】
 (4) 呼名に応え、自分を意識するとともに、同じクラスの友達や教師への意識も高める。【人】【意】
 (5) 日付、曜日、天気への意識を高める。【情】
 (6) 2枚の絵カードを見て、自分の気持ちに合った方を選択し、伝えることができる。【情】【意】

7. 展開

時刻	児童の活動	キャリアの観点から見ると	領域	教員の動きと個別の留意点
10:00	①音楽を聞いて教室に集まり着席する。 ②「始めます」のサインをする。始まりの歌を歌い、順番に教師と手を合わせる。 ③起立して挨拶 ④呼名に応じて手を挙げる。返事をする。 ⑤担任の写真カードを見て呼ぶ。(実物を見る) ⑥日付と天気を確認する。 ・カレンダーと数字のマッチング ・天気(2択) ⑦今日の気分(2択)を絵カードで伝える。 ⑧今日の予定の絵カードを順番に見る。(聞く) ⑨帰りの確認を聞く。(見る)	・集団参加 ・活動の始まりを知る ・会の始まりを知る ・活動への期待感や意欲を持つ ・ルールの理解、挨拶ができる ・自己決定 ・順番を守る ・友だちへの意識を高める ・違いが分かる ・教師への意識を高める ・興味の開発 ・やって見ようと思う ・絵カードの意味が分かる ・絵カードの意味が分かる ・自己選択、決定 ・1日の活動の見通しや期待感を持つ ・どのような帰り方なのか見通しを持つ	人情 情 人情 情将 人 人 人情 情将 情意 情意 情 意 情将 情将 人	○「朝の会が始まるよ」と言いながら楽しい雰囲気の中で音楽紙芝居に誘い、着席を促す。朝の会のサインの模倣を促す。 ○STも大きな声で歌いながら、身振りの支援をする。歌える児童には、歌うことを誘う。 ○個々の起立とお辞儀の支援をする。 ○ORTが名前カードを見せる。 児童が手を挙げたり返事ができたりしたら顔写真の下に名前カードを貼る。STも一緒に寝る。 ○ORTがそれぞれ顔写真を見せ、児童に教師の名を問う。呼ばれた教師は元気よく手を挙げて返事をし、挨拶の手本を示す。 ○カレンダーの当日の場所に印をつけさせる。歌に合わせて天気を問い、絵カードを選ばせる。曜日、天気ともにサインの模倣を促す。 ○歌とともに絵カードを2枚見せて、自分の気持ちに合った方を選ばせ、指さしで示すよう支援する。 ○順番に1枚ずつ、サインとともに示す。給食メニューは、献立を絵にして分かりやすくする。 ○下校変更の児童だけでなく全員について、確認する。
10:20	⑨終わりの挨拶	・挨拶ができる	人	

※キャリア教育4領域分類【人：人間関係形成能力／情：情報活用能力／将：将来設計能力／意：意思決定能力】

8. その他

高等部 A 部門 1・3 年 音楽科指導略案

- 1 日時 2011 年 1 月 26 日 (水) 10:50~11:30
 2 場所 1 階音楽室
 3 参加者 高等部 A 部門 1・3 年生 生徒 10 名
 4 指導者 高等部担任 8 名
 5 単元 (題材) 『冬だ、たこあげをしよう』
 6 ねらい
 ・たこあげをしながら歌のリズムやスピードを耳や体で感じ取って表現する。(情・将)
 ・卒業に向けた音楽に親しみ、曲に合わせた音や楽器の響きを感じながら合奏を楽しむ。(情・人)

7 展開

時間	生徒の動き	キャリアの観点から見ると	領域	教師の動きと留意点
10:50	○音楽室に集合。 ・半円形に並ぶ。 ・始まりのうた「ハローハロー」をピアノに合わせて歌う。自分の番で名前を呼ばれたらマイクで返事をする。	・返事をする。 ・授業が始まることを感じ取る。	人・意 情・将	・集合後、静寂を感じ、始まりを意識できるように言葉をかける。 ・ST は間奏中に次の生徒にマイクを向ける。生徒によってはマイクを触らせたり合図をすることによって、出番であることを知らせる。 ・ST 全員で歌い、名前を呼ぶ。 ・返事では発声、うなずき、まばたき、それぞれの方法を引き出す。
	○学習内容を知る。 ・季節の音楽に親しみ疑似体験したり、卒業に向けて合奏をしたりすることを知る。	・授業の内容や目的を知り、気持ちを向ける。	情・将	・季節の話を交えつつ、歌や遊びを紹介する。 ・卒業式に向けて、『高Aバンド』を結成し、演奏することを伝える。
11:00	「たこあげ」(身体表現) ・歌のリズムやスピードを感じながら、手にタコ糸を持ち、擬似凧があがったり落ちたりするのを体で感じ表現する。 ・歌を歌ったり、友だちが凧揚げをするのを見たりする。	・リズムを体で感じる。 ・体を動かすことでリズムの変化を感じ、自分でリズムを決める。 ・先に行う友だちの様子を見て、イメージを持ったり振り返ったりする。	情 意 将	・歌のリズムやスピードに合わせて、手に握ったタコ糸のテンションに強弱をつけるように工夫する。 ・凧糸は握りやすいように工夫する。 ・凧揚げをする生徒は 3 人くらいずつ中央で行う。凧揚げをしていない生徒は両脇に移動する。教師は、歌を歌ったり、声をかけたりして雰囲気盛り上げる。
11:15	「はじめの一步」(合奏) ・「はじめの一步」の歌を聞いたり、歌ったりする。 ・各パートに分かれて練習する。 ・みんなで合奏する。	・歌を聴き、これから行うことイメージする。 ・自分の楽器を知る。 ・演奏の方法を決める。 ・友だちの出した音を意識する。 ・合図に合わせて演奏する。	情・将 情 意・人 人 情・将	グループ①C1:キーボード グループ②C2:ヴォーカル グループ③C3:打楽器 (2~3 種類) C4:太鼓 C5:タンバリン or 太鼓 C6:ウッドブロック グループ④C7:鈴 (ツリーチャイム) C8:鈴 (ツリーチャイム) C9:トライアングル C10:トライアングル ・各グループで担当する教員を分担
11:25	・「終わりのうた」を歌う。 ・ひとりひとりが 1 フレーズずつオートハープを演奏する。授業を終了、教室へ戻る。	・授業が終わることを感じ取る。 ・自分のやりたい演奏の方法を選ぶ。	情・将 意	・指ではじく、パチを使う等、それぞれのやりやすい方法で演奏させる。 ・演奏している人を注目するように促す。 ・最後に LT が演奏し、全員でオートハープの音色を味わう。 ・状況により、演奏する生徒の人数は変更する可能性あり。

※キャリア教育 4 領域分類【人：人間関係形成能力／情：情報活用能力／将：将来設計能力／意：意思決定能力】

8 その他 準備物

アンプ マイク 歌詞カード 延長コード 凧 キーボード ウッドブロック ツリーチャイム ギター
 トライアングル タンバリン 太鼓 (コンガ) オートハープ ばち

人とくらし 指導略案

1. 日時 1月26日(水) 10:30～11:20、11:30～12:20
2. 場所 高等部2-1教室(117教室)
3. 参加者 高等部2年 職業人コース1、2組 生徒16名
4. 指導者 担任4名
5. 単元(題材) ソーシャルスキルトレーニング②(あったか言葉とちくちく言葉)

6. ねらい 学校や職場での適切なコミュニケーションの方法を学ぶ。

【情報】【人間関係形成】【意思決定】【将来設計】

7. 展開

時刻	生徒の活動	キャリアの視点から見ると	領域	教員の動きと個別の留意点
10:30	・はじめの挨拶 座る場所を決める。(Uの字)	・あいさつ 集団参加	人	・先生の話を中心に聞いて聞けるように配慮する。
10:40	① 前回のソーシャルスキルトレーニングの復習をする。 ・人との距離・話すときには目をみる ・話す声の大きさ・頷く(人の話を聞く)	・復習しながら今日の授業の見通しを持つ。	情	・内容を知るために、個別対応の生徒は個別に声をかける。
	② 練習1 ●教師二人と生徒ひとりが前にでる。モデリングのあと体験させる。その後プリントに記入する。 学校編	・今日の授業に見通しを持つ。	情	・別対応が必要な生徒は個別に対応する。プリントに記入させながら、わからないところは個人的に質問させる。
11:20	学校編から順番におこなう。	・聞いていて心地よい言葉と嫌な気持ちになる言葉	人	・プリントを提出させる。
11:30	・実際に体験してみる。	・学校や現場実習を想定してコミュニケーションの方法が考えられる	情	・教師はプリントを読んで生徒に体験させる。
	職場編 ・実際に体験してみる。 ・順番にあったか言葉とちくちく言葉を体験させる。		人	・体験させるときに、あったか言葉とちくちく言葉を意識させる。実際に体験するなかで、心地よい気持ちと嫌な気持ちを知っていけるように支援する。
	まとめ編 演習(考えてみようのプリント) ・プリントを読みながら適切な会話を記入する。		将	
	③ まとめ ・今日の授業のまとめを聞く		意	
12:20	④ おわりのあいさつ	・話を聞ける	人	・あったか言葉の例とちくちく言葉の例をもう一度復習する。
		挨拶	人	

※キャリア教育4領域分類【人：人間関係形成能力／情：情報活用能力／将：将来設計能力／意：意思決定能力】